

大災害・物価高騰から 命とくらしを守る区政を



能登半島地震の被災地支援の申し入れ(1月)

区の積み立て金1年間で302億円増 総額2672億円の有効活用こそ

物価高騰、実質賃金マイナスが22カ月続く中、自民党は裏金づくり、区民は負担増で怒りの声があがっています。1月1日に発生した能登半島地震の状況もふまえた震災対策をはじめ、新庁舎建設問題、生活保護の充実、図書館や文化施設の拡充など、区民の声を区政に反映させるため予算議会で奮闘しました。

地震から命を守る支援の充実を！

能登半島地震をふまえ、区の震災対策の抜本的な充実を求めました。

住宅の耐震化への支援は、4月より補助の増額が実現。区議団は、旧耐震基準(81年以前)以降の住宅についても、実態把握や対策の強化を提案しました。また、住宅が倒壊しても命を守る個室タイプの耐震シェルター普及への支援を求めましたが、区は否定的でした。

地震後の火災防止に効果がある感震ブ

レーカーについては、コンセン

ト型の無料配付の締切が3月末

まで延長されました。しかし、4月からの予算には計上されず、年度途中の6月に予算を組む方針が示されました。当初の予算に計上しなかった区の消極的な姿勢を指摘し、通電を一括で遮断するタイプへの支援も求めました。



区が配布した感震プレーカー

船堀駅周辺に図書館を！

図書館の空白地域である船堀駅周辺に新しく図書館設置を求める署名が、7600人を超える周辺住民など多くの方々から寄せられています。しかし区は、船堀小学校に図書館サテライトがあるとして「図書館の空白地域ではない」と設置には消極的な答弁。住民の声に応えるべきです。

※図書館サテライトとは…区内の小中学校(10校)の図書館で予約資料の受け取りや返却ができる事業。

区民軽視のPark・PFIはストップを

総合レクリエーション公園などのリニューアル事業に区民の声を

Park・PFIは、区民の財産である公園を民間事業者のもうけの対象とし「稼ぐ公園」をめざすものです。また、その後の管理を20年間任せる仕組みであり、日本共産党は反対しています。今まで、区民の声を聞くことを求めてきた結果、スケボーパークは設置見直しが示されました。また、西葛西の子どもの広場への飲食店設置に対し、「子どもたちが自由に遊ぶ空間がなくなってしまう」と利用者から声が届いています。区民の声より事業者を優先した区の姿勢が相次いで問われる事態です。

今後の公共施設の再編計画も区民不在で受益者負担などをう

区役所新庁舎 建設費が590億円に

船堀4丁目で予定されている新庁舎建設について、これまで、建設費は概算で303億円とされてきましたが、昨年12月末、資材の高騰などを理由に590億円への修正が公表されました。

その積算や具体的な内訳について質問しましたが、区の説明は極めて不十分。区民の税金の使い方や区民最大の共有財産の情報開示のあり方として問題です。また、再開発の手法を用いたことにより、建設にかかる費用の妥当性を判断する根拠を議会にさえ示せない構造となっていることも重大です。

工事費(見込額)

(R5年12月時点)

(内訳)

基本設計
590億円

工事費高騰による影響
200億円
機能強化分87億円
(令和3年3月時点)
基本構想
303億円

現庁舎跡地

小松川警察でにぎわい?

地元町会、商店街、工場会の皆さんからは「人が行き来する多目的で人が集まる幅広い世代が活用できる複合施設を」と要望されていました。今議会で「小松川警察の移転先として警視庁と協議している」と区長が表明しました。「にぎわう施設になるのか」と問うと、「にぎわいをもたらす」と答弁。本当ににぎわいのある施設になるのか疑問です。



現庁舎

遺体放置事件を教訓に 生活保護行政が充実へ

昨年6月に発覚した生活保護利用者の遺体が放置された事件を受け、この間、検証と再発防止を目的とした第三者委員会で生活保護行政のあり方などが検討されてきました。1月末に委員会から報告書が提出され、今議会では、区の対応策が示されました。(左図参照)

資格取得の推進やポスター作成は、区議団がこれまで繰り返し提案してきた内容が実現します。一方で、一部の福祉事務所では、その後も職員の不適正事務や不祥事が相次いで判明しており、継続したチェックも重要です。

- ◆担当課を増やし、地域区分も見直すなど体制を強化
- ◆ケースワーカーから全員が社会福祉主事資格を取得できるよう予算化
- ◆生活保護制度そのものへの理解啓発を進めるポスターの作成
- ◆区の生活保護行政をチェックする有識者らによる会議体の設置



生活保護第三課

4月からの

国保料・介護保険料 などの値上げに反対

国保料(今年度東京で一番高い)・介護保険料・後期高齢者保険料が一斉に値上げ。国保も介護も区の条例で定めます。区議団は、一般財源繰り入れで値上げをしないよう求めました。国保料据え置きは約24億円で可能、くらし福祉の充実こそ大事な政治の仕事です。

(2024年度保険料)

国保料均等割	年69,000円(5,700円増) 所得割も含めて 1人平均約年15万円
後期高齢者保険料均等割	年47,300円(900円増) 所得割も含めて 1人平均年約11万円
介護保険料第5段階	年73,200円(2,400円増)

2024年度 予算に反対

くらし福祉の 充実を求めて 予算修正案を提案

子育て支援の拡充・耐震改修工事助成50万円増額・農地保全(農地買取)など積極面はあるものの、国保料や介護保険料などの値上げで、区民負担が増えるため反対しました。

予算修正案は、住民犠牲の国のスーパー堤防事業と一体の上篠崎一丁目区画整理事業と、競争を激化させる学校の一斉テスト予算約2億8300万円を減額。一方で子どもの国保料の免除と、ひとり親支援の児童育成(障害)手当月2000円増で、全体で約3億円の増額を提案。残念ながら他会派の賛同は得られず否決されましたが、区の積み立て金2672億円を活用すれば十分可能です。

「おむつ定期便」で子育てを応援 新生児訪問は全て専門家が

今年1月から実施されている「おむつ定期便」は満1歳まで、研修を受けた方が月1回おむつなど必要な物資を届けながら子育てを応援します。求め続けてきた母子保健法に基づく「新生児訪問」は、全ての家庭への専門家(保健師・助産師)による訪問が実現します。



区立保育園の保育士不足 4月に派遣保育士を15園で募集

一昨年4月に初めて10園の区立保育園に派遣保育士を配置。昨年は12園に、今年4月はさらに増えます。保育園は毎日朝7時半から午後6時半まで(延長園では7時半)保育士がローテーションで保育します。土曜日交代で勤務。区は「正規保育士と変わらない」というものの派遣の募集には「土日休み、週3日休みあり」としており実態には合っていません。また、他にも制約があり現場は混乱しています。

子どもの命を守り健やかに育てる保育園には、4月から必要な正規保育士を配置すべきです。年度途中にも採用すべきと求めました。

「休日保育」の驚きの実態?!

今年6月から実施予定の「休日保育」は、区内全認可保育園(約180園)の子どもが対象。毎月10人を先着順で募集し決定。区立船堀第2保育園で実施し、保育士は固定ではなく区立保育士が毎週輪番で保育するとのこと。子どもや保護者は初めての保育士、慣れない場所に不安ではないでしょうか。区の子どもの権利条例や保育の質のガイドラインに反する内容です。体制を十分整え実施すべきです。

文化・芸術 活動の推進を

文化・芸術活動の充実のために、区内施設の音楽室の拡充を求めました。区長は「学校を身近な文化やスポーツ活動の拠点として検討していく」と、旧第二松江小学校の活用などに言及しました。一方、現在の施設拡充には否定的でした。

「パレスチナ自治区ガザ地区における人道目的の即時停戦等の実現に関する決議」を全会一致で可決

イスラエルのパレスチナ・ガザ地区への攻撃では多くの子どもたちが市民が犠牲になり、飢餓状態も心配されています。江戸川区議会は、昨年12月28日の臨時議会で即時停戦を求める決議をしました。「ジェノサイド止めよ」の声をさらに広げていきましょう!

日本共産党江戸川区議団

法律相談

各区議事務所・区議団控室では
常時生活相談を受け付けています。
☎03-5662-5113(控室)

区議団ホームページに、2019～2022年度政務活動費の領収書を掲載しています。一部、数字がうすい領収書がありますが、今後改善していきます。



小侯 のり子 区議地域

●連絡先 ☎03-3655-4422
●場所/小侯事務所
法律相談 ●4月10日(水)・5月8日(水)
受付:午後6時半～8時

ツイッター@omatanoriko FBは小侯のり子で検索を



大橋 みえ子 区議地域

●連絡先 ☎03-5674-3753
●場所/大橋事務所
法律相談 ●4月3日(水)・5月8日(水)
受付:午後6時半～8時

ツイッター@OhashiMiek59844 FBは大橋みえ子で検索を



牧野 けんじ 区議地域

●連絡先 ☎03-5662-5113
●場所/牧野事務所
法律相談 ●4月24日(水)・5月22日(水)
受付:午後2時～4時

ツイッター@kenji_makino FBは牧野けんじで検索を



太田 あやか 区議地域

●連絡先 ☎03-3637-4050
●場所/太田事務所
法律相談 ●4月18日(木)・5月16日(木)
受付:午後6時半～8時

ツイッター@jcp_oaya